熊本大学病院
緩和ケアセンター 広報誌
～地域連携をめざして～

- 地域包括支援センターについて
- アピアランスケアについて

Vol.9
2023.2

ご　挨　拶

今回、地域包括支援センターの広報の機会をいただき有難うございます。

地域包括支援センターは、地域の高齢者等の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者等の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケアシステムの実現に向けた中核的な機関として市町村が設置しています。

現在、社会を取り巻く環境は少子高齢化による超高齢社会の進展、生産年齢人口が急激に減少する人口減少社会、あるいは多世代にわたる家族問題等々、課題は多岐にわたっています。特に、最も身近な地域においても個人の問題だけでなく世帯の問題も含めて複雑化しています。

このような状況下で、センターは活動する地域の特性を活かし、実施主体である市町村をはじめ、多くの機関・団体・住民と連携を図りながら、地域住民がメインの豊かな地域社会の実現を目指し、社会の変化に応じた新しい発想と方法で未来を想像し、創造していくことが求められています。

市民の福祉ニーズが多種多様化する中、公的なサービスを基本としながら市民が「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域住民や地域の多様な人、団体、機関が「我が事」として誰もが役割を持ち、活躍できる「地域共生社会」の実現に繋がる仲介役としての役割も担っています。

事例として、熊本県では「地域の縁がわ」作りの活動を行っています。誰でも集える身近な居場所という役割をさらに進め「地域の縁がわ5つ星プロジェクト」として介護予防の取り組みや、買い物支援をはじめとする生活支援など、地域の課題に対する活動の充実を図ることを目的としています。

5つ星の取り組み内容は、(1)見守り、(2)配食・会食サービス、(3)買い物支援、(4)生涯現役社会を支えるための健康づくり、(5)学びの縁がわの5つです。

具体的には商店街の空き店舗を利用して、主婦やボランティア団体が日替わりでお惣菜、お弁当の店を出店し、販売は若者サポートステーションの利用者や高校生の就労の体験の場として、地域のボランティアが当番制で受け持ち運営がなされています。手づくりの栄養バランスの取れた安価な食を提供し、世代間交流の場として地域の方々の寄り処として安心でき、ゆっくり過ごせる場所を提供しています。特に、高齢者や一人暮らしの方々の見守り活動や閉じこもり、孤立の予防にも努めています。

健軍商店街おーさぁの縁がわ活動は九州厚生局主催のイベントでも最優秀賞を獲得しています。

その他にも、大分県臼杵市では「高齢化に対応する医療・介護の連携」を進めるために、医師会を中心として切れ目のない在宅医療と介護の連携した対応が求められる場面(①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り)を意識した取り組みが必要となり、多様な機関(職種)が相互に連携することができるよう「臼杵市Z会議」、「うすき石仏ねっと」、多職種事例検討会、医療、介護、福祉、行政など多職種が参加する研修会などを活用し、情報の共有と医療・介護関係者の意識の醸成を図っています。

このような地域共生社会づくりが地域の特性やニーズによって姿、形を変えながら構築されています。

もちろん、地域包括支援センターや在介センターは組織のひとつであり、様々な組織、団体を結びつけるコーディネーターとしての役割もあります。

地域包括支援センターや在宅介護支援センターの役割を十分に理解いただき、医療・介護・福祉の連携を密にしながら、地域住民への安心・安全なサービス提供へと繋がっていければと願っています。

令和5年2月

九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会
熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会
会長　鴻江 圭子

目　次

1. 地域包括支援センターについて …… 1
2. 熊本県地域包括支援センター一覧 …… 6
3. アピアランスケアについて …… 10
4. 「私のカルテ」・「私のノート」・「私の日記」・「私のメッセージ」 … 16
5. 在宅緩和ケアマップ …… 18
6. 一般市民への普及啓発活動 …… 19
   県民公開講座（市外・市内）、パネル展、ホームページ
7. 医療従事者への活動 …… 24
8. 熊本県がん診療連携拠点病院 …… 28
9. 緩和ケア病棟のある病院 …… 29
10. 緩和ケアセンターのご案内 …… 30

熊本大学病院連絡先一覧

緩和ケアセンターホームページ
https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/palliativecare/

緩和ケアセンター
TEL：096-373-5637　FAX：096-373-5587
Mail：kanwa@jimu.kumamoto-u.ac.jp
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1（外来診療棟2階）

緩和ケア外来
TEL：096-373-5637　FAX：096-373-5587
平日：8：30～17：15

外来化学療法センター
TEL：096-373-5640　FAX：096-373-5640
平日：8：30～17：15

地域医療連携センター
TEL：096-373-5934、096-373-5701
FAX：096-373-5957
平日：8：30～17：15

がん相談支援センター
TEL：096-373-5676　FAX：096-373-5720
平日：8：30～17：15

1 地域包括支援センターについて

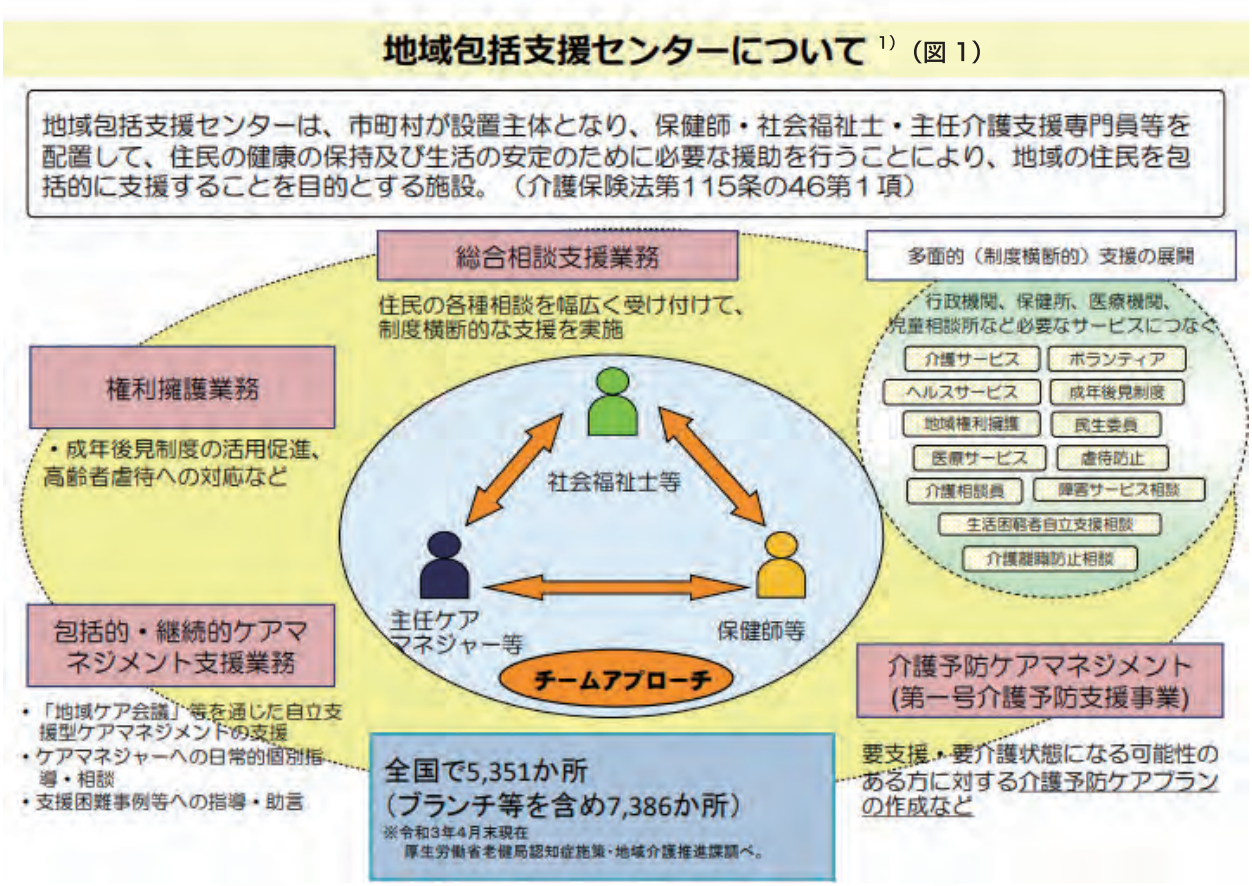
1. 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、地域の高齢者等の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者等の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として市町村が設置しています。

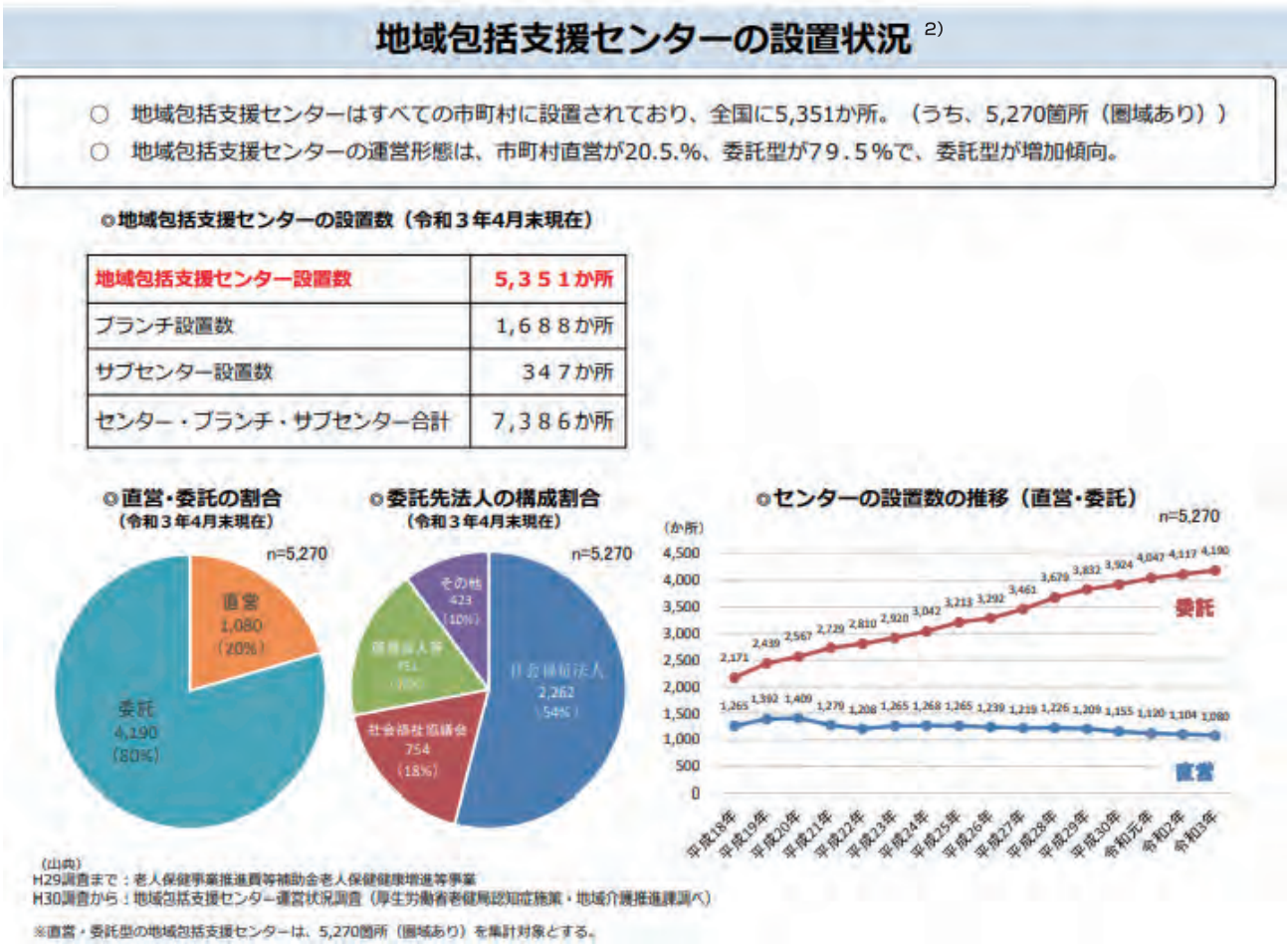
（厚生労働省ホームページより）



地域住民を対象に、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などから構成されたチームでサポートします。



全国で5,351か所（令和3年4月末現在）が設置されており、ブランチ、サブセンターも合わせると、7,386か所設置されています。



地域包括支援センターの設置状況 2)

○ 地域包括支援センターはすべての市町村に設置されており、全国に5,351か所。（うち、5,270箇所（圏域あり））
○ 地域包括支援センターの運営形態は、市町村直営が20.5%、委託型が79.5%で、委託型が増加傾向。

◎地域包括支援センターの設置数（令和３年4月末現在）

地域包括支援センター設置数	5,３５１か所
ブランチ設置数	1,６８８か所
サブセンター設置数	３４７か所
センター・ブランチ・サブセンター合計	7,３８６か所

◎直営・委託の割合（令和３年4月末現在）

◎委託先法人の構成割合（令和３年4月末現在）

◎センターの設置数の推移（直営・委託）

（出典）
H29調査まで：老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業
H30調査から：地域包括支援センター運営状況調査（厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課調べ）
※直営・委託型の地域包括支援センターは、5,270箇所（圏域あり）を集計対象とする。

熊本県では、81か所（令和4年10月現在）が設置されており、下記ホームページより検索できます。

また、現時点における地域別の一覧表を作成しましたので、ご活用ください。

ホームページの検索サイト
https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/32/149899.html



2. 地域包括支援センターの役割

図1にあるように、地域包括支援センターには4つの役割があります。

① 総合相談支援業務
② 権利擁護業務
③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
④ 介護予防ケアマネジメント

① 総合相談支援業務

地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行います。

・在宅療養について
・訪問介護について
・高齢者施設への入所について

※相談は無料です。ただし、サービスを利用するときは費用がかかることがあります。

② 権利擁護業務

地域の住民や民生委員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからないなどの困難な状況にある高齢者等が、地域において、安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点からの支援を行います。具体的には、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止に関する諸制度の活用などにより、高齢者等の生活の維持を図ります。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行います。

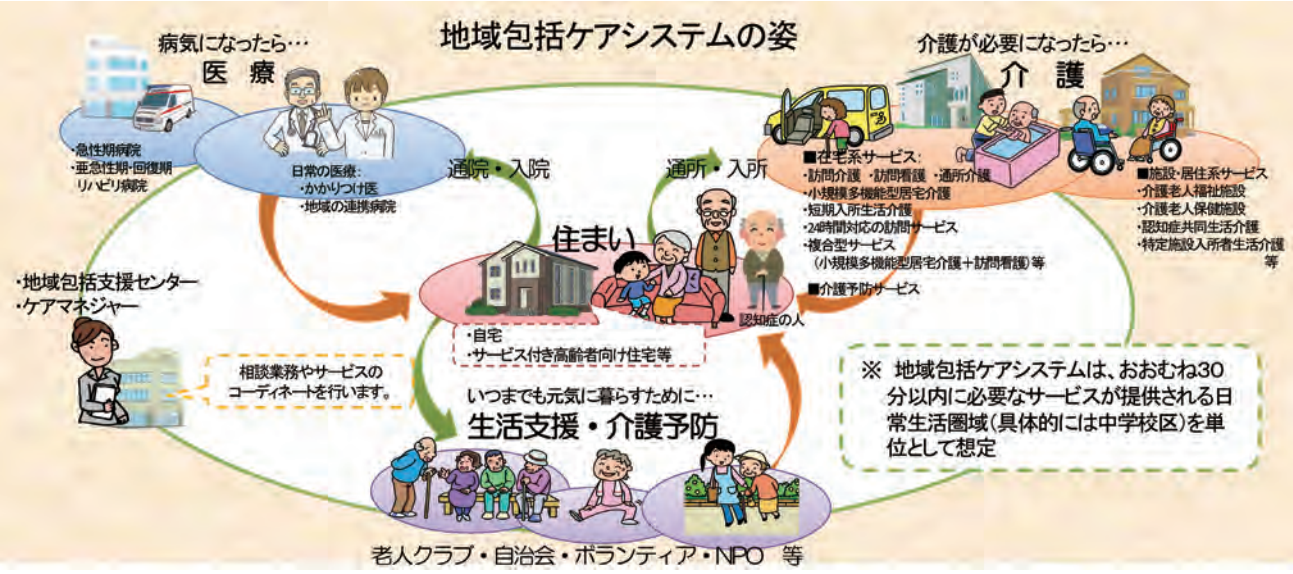
④ 介護予防ケアマネジメント

対象者に対して、心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行います。



3. 地域包括ケア

では、地域包括ケアとはどのようなことでしょうか。地域包括ケアとは、医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供・確保される考え方であり、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)を目途に、そのしくみ「地域包括ケアシステム」[3]の構築が推進されています。地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定されています。





4. 地域共生社会

① 地域共生社会とは

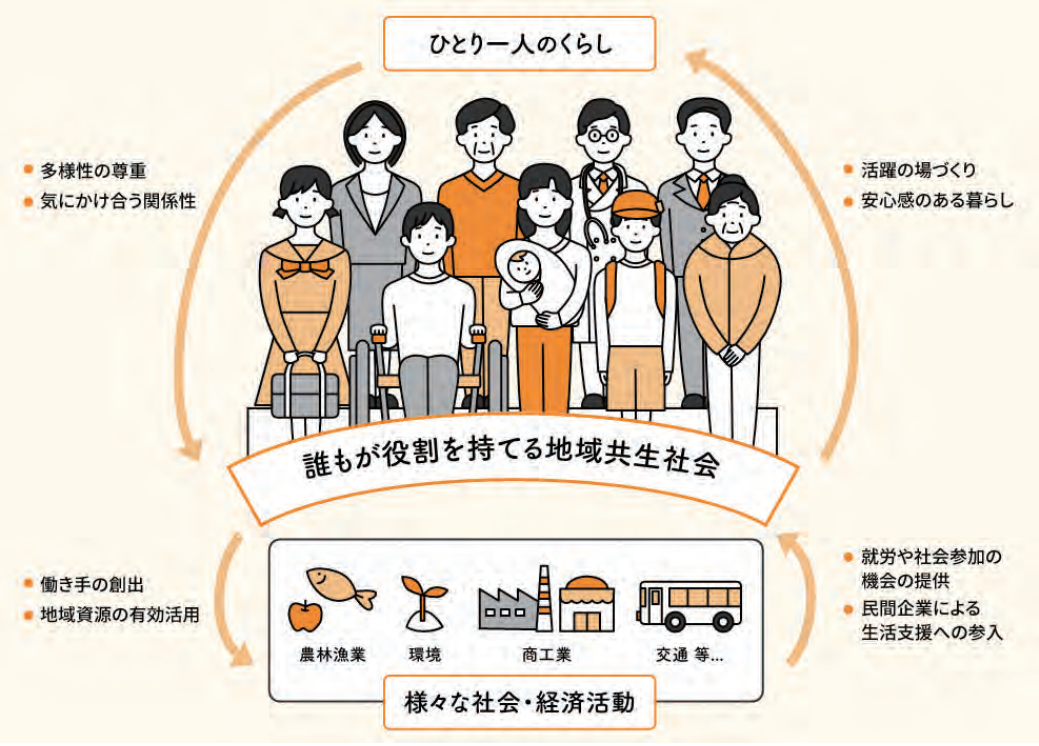
制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

② 改革の背景と方向性

わが国では人口減少・少子高齢化や世帯の小規模化、一人ひとりの価値観や生活様式の多様化など、社会環境の変化により人と人とのつながりが次第に希薄化し、家庭や地域で支えあう力が弱まりつつあります。そのような中、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加し、その上、ひきこもりや子育て家庭の孤立、虐待、経済的に困窮している世帯、自殺対策など新たな課題が表面化してきています。

このように、市民の福祉ニーズが多種多様化する中、従来の高齢者や子育て中の人、障がいのある人といった、制度・分野ごとの「縦割り」で整備されてきた公的なサービスだけでは対応が難しくなってきています。

そこで、公的なサービスを基本としながら、市民が「支え手側」と「受け手側」にわかれるのではなく、地域住民や地域の多様な人・団体・機関が「我が事」として誰もが役割を持ち活躍できる「地域共生社会」[4]の実現が求められています。



引用・参考文献
1)、2) 厚生労働省ホームページ　https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000756893.pdf、2022年11月30日
3)厚生労働省ホームページ　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/、2022年11月30日
4)厚生労働省　地域共生社会のポータルサイト　https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/、2022年11月30日

2 熊本県地域包括支援センター一覧

県内では、市町村がそれぞれの日常生活圏域ごとに、「地域包括支援センター」を設置しております。

本誌では、熊本県を11の医療圏域に分け、圏域ごとにまとめて記載しております。

以下、それぞれの生活圏内にあるセンターの担当校区を一覧表でご確認の上ご利用ください。















令和4年4月1日時点

圏域	No.	市町村	通　　称	所在地	電話	ファックス	担当校区
熊本	1	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　熊本中央	〒860-0004 熊本市中央区新町4丁目1- 26	096-319-0222	096-319-5222	壺川　城東 慶徳　一新 五福
	2	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　本荘	〒860-0811 熊本市中央区本荘4丁目1-3	096-221-3242	096-221-3282	向山　本荘 春竹
	3	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　子飼	〒860-0853 熊本市中央区西子飼町8-18 RIX Bambino 1階	096-243-2233	096-243-2232	碩台　黒髪
	4	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　白川	〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目 2- 23MCビル1階	096-211-6011	096-211-6020	白川　大江 白山
	5	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　水前寺	〒862-0941 熊本市中央区出水１丁目4-7	096-362-0065	096-362-0070	出水　出水南 砂取
	6	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　帯山	〒862-0926 熊本市中央区保田窪1丁目 1- 33第2大田ビル1階	096-241-0230	096-241-0232	託麻原　帯山 帯山西
	7	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　尾ノ上	〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目12-8 ラフォーレ19番館101	096-331-6355	096-331-6356	尾ノ上 山ノ内　東町 健軍東　月出
	8	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　保田窪	〒862-0925 熊本市東区保田窪本町10-114 グランフィーネ保田窪IF	096-387-8201	096-387-8202	西原　託麻西
	9	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　託麻	〒861-8041 熊本市東区戸島西2丁目6-132	096-282-8249	096-380-7048	託麻東 託麻北 託麻南　長嶺
	10	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　江津湖	〒862-0955 熊本市東区神水本町25−25	096-214-6888	096-214-6889	画図　健軍 泉ヶ丘
	11	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　あさひば	〒861-2118 熊本市東区花立2丁目4-5 花立ヒルズ1F	096-360-5550	096-360-5100	秋津　若葉 桜木　桜木東
	12	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　三和	〒860-0066 熊本市西区城山下代4丁目 10-16B号室	096-329-6743	096-223-8841	高橋　池上 城山
	13	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　井芹	〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目11-13	096-311-5311	096-326-0026	城西　花園 池田
	14	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　花陵	〒860-0047 熊本市西区春日6丁目19-2 マーブル春日IF	096-247-6030	096-247-6031	古町　春日 白坪
	15	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　金峰	〒861-5343 熊本市西区河内町野出1948-1	096-277-2588	096-277-2589	芳野　河内
	16	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　熊本西	〒861-5287 熊本市西区小島8丁目9-13	096-329-2016	096-329-2056	小島　中島
	17	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　富合	〒861-4147 熊本市南区富合町廻江599-4	096-358-5556	096-357-6662	富合
	18	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　幸田	〒862-0965 熊本市南区田井島2丁目9-9 田井島スクエアⅠ	096-370-5055	096-370-5057	御幸　田迎西 田迎　田迎南
	19	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　熊本南	〒861-4106 熊本市南区南高江6丁目7-35	096-358-7222	096-358-2388	城南　川尻 力合　力合西 日吉　日吉東
	20	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　飽田	〒861-4121 熊本市南区会富町1333-1	096-227-1695	096-227-6477	飽田東 飽田南 飽田西
	21	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　天明	〒861-4126 熊本市南区銭塘町2138-2	096-223-2660	096-223-2670	中緑　銭塘 奥古閑　川口
	22	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　城南	〒861-4202 熊本市南区城南町宮地1050 熊本市城南まちづくりセンター内	0964-28-1131	0964-28-8732	杉上　隈庄 豊田
	23	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　植木	〒861-0134 熊本市北区植木町植木555	096-272-6914	096-288-3637	植木 山本 田原 菱形 桜井 山東 吉松 田底
	24	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　北部	〒861-5521 熊本市北区鹿子木町66	096-275-6355	096-275-6389	川上　西里 北部東
	25	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　清水･高平	〒860-0084 熊本市北区山室6丁目8-2	096-343-0170	096-346-1156	清水　高平台
	26	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　新地	〒861-8075 熊本市北区清水新地2丁目 19-24	096-288-4800	096-288-4801	城北　麻生田
	27	熊本市	熊本市高齢者支援センターささえりあ　武蔵塚	〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘1丁目 9-1 1F	096-339-8130	096-339-8191	龍田　龍田西 武蔵　弓削 楠　楡木

令和4年4月1日時点

圏域	No.	市町村	通　　称	所在地	電話	ファックス	担当校区
宇城	28	宇土市	宇土市地域包括支援センター	〒869-0421 宇土市南段原町164-5	0964-24-1555	0964-24-1556	宇土市全域
	29	宇城市	宇城市地域包括支援センター	〒869-0524 宇城市松橋町豊福1786番地 （松橋老人福祉センター内）	0964-25-2015	0964-32-6455	宇城市全域
	30	美里町	美里町地域包括支援センター	〒861-4722 下益城郡美里町永富1510 （美里町老人福祉センター内）	0964-47-7005	0964-47-0073	美里町全域
有明	31	荒尾市	荒尾市地域包括支援センター	〒864-8686 荒尾市宮内出目390 （荒尾市役所内）	0968-63-1177	0968-63-1210	荒尾市全域
	32	玉名市	玉名市包括支援センター	〒865-0016 玉名市岩崎88-4 （玉名市福祉センター内）	0968-71-0285	0968-71-0360	玉名市全域
	33	玉東町	玉東町地域包括支援センター	〒869-0303 玉名郡玉東町大字木葉372	0968-85-6242	0968-85-6554	玉東町全域
	34	和水町	和水町地域包括支援センター	〒865-0192 玉名郡和水町江田3886	0968-86-5724	0968-86-4660	和水町全域
	35	南関町	南関町地域包括支援センター	〒861-0898 玉名郡南関町大字関町64 （南関町役場内）	0968-69-9760	0968-53-3617	南関町全域
	36	長洲町	長洲町地域包括支援センター	〒869-0123 玉名郡長洲町大字長洲2766 （長洲町役場内）	0968-78-3114	0968-78-3118	長洲町全域
鹿本	37	山鹿市	山鹿市地域包括支援センター	〒861-0531 山鹿市中578 （山鹿健康福祉センター内）	0968-43-1077	0968-43-1164	山鹿市全域
菊池	38	菊池市	菊池市地域包括支援センター	〒861-1392 菊池市隈府888	0968-25-7216	0968-25-1522	菊池市全域
	39	合志市	合志市地域包括支援センター	〒861-1116 合志市福原2922番地 （合志市総合センターヴィーブル内）	096-248-1126	096-248-1599	合志市全域
	40	大津町	大津町地域包括支援センター	〒869-1292 菊池郡大津町大字大津1233	096-292-0770	096-292-1234	大津町全域
	41	菊陽町	菊陽町地域包括支援センター	〒869-1192 菊池郡菊陽町大字久保田2800	096-232-2366	096-232-6676	菊陽町全域
阿蘇	42	阿蘇市	阿蘇市地域包括支援センター	〒869-2301 阿蘇市内牧976-2	0967-32-5122	0967-32-5125	阿蘇市全域
	43	南小国町	南小国町地域包括支援センター	〒869-2401 阿蘇郡南小国町大字赤馬場144-1 （南小国町自然休養村管理センター）	0967-25-6877	0967-25-6888	南小国町全域
	44	小国町	小国町地域包括支援センター	〒869-2501 阿蘇郡小国町大字宮原1567-1	0967-46-2116	0967-48-5323	小国町全域
	45	産山村	産山村地域包括支援センター	〒869-2703 阿蘇郡産山村大字山鹿488-3 （健康福祉課内）	0967-25-2212	0967-25-2864	産山村全域
	46	高森町	高森町地域包括支援センター	〒869-1602 阿蘇郡高森町大字高森2168 （高森町役場内）	0967-62-2055	0967-62-1174	高森町全域
	47	南阿蘇村	南阿蘇村久木野包括支援センター	〒869-1412 阿蘇郡南阿蘇村大字久石2705	0967-67-3099	0967-67-2317	南阿蘇村 （久木野地区） （白水地区）
	48	南阿蘇村	南阿蘇村長陽包括支援センター	〒869-1404 阿蘇郡南阿蘇村大字河陽4463	0967-67-8456	0967-67-2296	南阿蘇村 （長陽地区）
	49	西原村	にしはら地域包括支援センター	〒861-2402 阿蘇郡西原村大字小森3259	096-279-4111	096-279-4111	西原村全域
上益城	50	御船町	御船町地域包括支援センター	〒861-3296 上益城郡御船町大字御船995-1	096-282-2911	096-282-1171	御船町全域
	51	嘉島町	嘉島町地域包括支援センター	〒861-3106 上益城郡嘉島町上島551 （嘉島町福祉センター 1F）	096-237-2981	096-237-3508	嘉島町全域
	52	益城町	益城町東部圏域地域包括支援センター （こころねっと　東部）	〒861-2241 上益城郡益城町宮園1139-1	096-289-0099	096-289-0015	東部圏域 （木山中学校区）
	53	益城町	益城町西部圏域地域包括支援センター （こころねっと　西部）	〒861-2233 上益城郡益城町惣領1440-10 ルミナスマンション1F	096-285-4822	096-285-4824	西部圏域 （益城中学校区）
	54	甲佐町	甲佐町地域包括支援センター	〒861-4696 上益城郡甲佐町大字豊内719番地4	096-234-1114	096-234-3964	甲佐町全域

令和4年4月1日時点

圏域	No.	市町村	通　　称	所在地	電話	ファックス	担当校区
上益城	55	山都町	山都町地域包括支援センター	〒861-3592 上益城郡山都町浜町6	0967-72-1677	0967-72-1066	山都町全域
八代	56	八代市	八代市第1地域包括支援センターふるさと	〒869-4202 八代市鏡町内田742−2	0965-53-2601	0965-52-5353	鏡　東陽 泉
	57	八代市	八代市第2地域包括支援センターやまびこ	〒866-0824 八代市上日置町2345	0965-30-8071	0965-30-8072	太田郷 昭和龍峯　千丁
	58	八代市	八代市第3地域包括支援センターだいち	〒866-0011 八代市井揚町3100番地	0965-45-5568	0965-45-5570	松高　八千把
	59	八代市	八代市第4地域包括支援センターしおかぜ	〒866-0022 八代市郡築一番町180-1	0965-37-3337	0965-37-3717	代陽 八代麦島 郡築
	60	八代市	八代市第5地域包括支援センターくまがわ	〒866-0081 八代市植柳上町683-1	0965-35-1111	0965-35-1112	植柳　高田 金剛　宮地
	61	八代市	八代市第6地域包括支援センターおれんじ	〒869-5141 八代市日奈久塩南町146-7	0965-38-3373	0965-38-3380	日奈久 二見　坂本
	62	氷川町	氷川町地域包括支援センター	〒869-4602 八代郡氷川町宮原702番地5 (宮原福祉センター)	0965-62-3456	0965-62-3458	氷川町全域
芦北	63	水俣市	水俣市地域包括支援センター	〒867-0005 水俣市牧ノ内3-1(水俣市総合 もやい直しセンターもやい館1F)	0966-62-3030	0966-63-3570	水俣市全域
	64	芦北町	芦北町地域包括支援センター	〒869-5563 葦北郡芦北町大字湯浦1439-1 (芦北町もやい直しセンターきずなの里)	0966-86-2270	0966-86-2260	芦北町全域
	65	津奈木町	津奈木町地域包括支援センター	〒869-5604 葦北郡津奈木町大字小津奈木 2123(農業就業改善センター)	0966-78-5333	0966-61-2941	津奈木町全域
球磨	66	人吉市	人吉市地域包括支援センター	〒868-0072 人吉市西間下町41-1	0966-24-9193	0966-25-1117	人吉市全域
	67	錦町	錦町地域包括支援センター	〒868-0302 球磨郡錦町一武1587	0966-38-4020	0966-38-4451	錦町全域
	68	あさぎり町	あさぎり町地域包括支援センター	〒868-0408 球磨郡あさぎり町免田東字久鹿 1199 番地	0966-45-7231	0966-49-9535	あさぎり町 全域
	69	多良木町 湯前町 水上村	上球磨地域包括支援センター	〒868-0501 球磨郡多良木町大字多良木4210番地 (球磨郡公立多良木病院本館3F)	0966-42-6006	0966-42-6008	多良木町 湯前町 水上村
	70	相良村	相良村地域包括支援センター	〒868-0094 球磨郡相良村大字深水2500-1	0966-35-1144	0966-35-0893	相良村全域
	71	五木村	五木村地域包括支援センター	〒868-0201 球磨郡五木村甲2672-7	0966-37-2214	0966-37-2215	五木村全域
	72	山江村	山江村地域包括支援センター	〒868-8502 球磨郡山江村大字山田甲 1356-1	0966-23-2232	0966-24-5669	山江村全域
	73	球磨村	球磨村地域包括支援センター	〒869-6401 球磨郡球磨村大字渡丙1730 (球磨村役場)	0966-32-1112	0966-32-1230	球磨村全域
天草	74	天草市	天草東地域包括支援センターあじさい	〒861-6303 天草市栖本町馬場179	0969-66-2266	0969-66-2267	本渡東　有明 御所浦　倉岳 栖本
	75	天草市	天草牛深地域包括支援センターすいせん	〒863-1901 天草市牛深町2286-103	0969-72-1133	0969-72-1132	牛深東 牛深西牛深南 天草町大江向
	76	天草市	天草西地域包括支援センターさざんか	〒863-1215 天草市河浦町白木河内223-12	0969-76-1611	0969-76-1612	天草 (大江向除く) 河浦
	77	天草市	天草南地域包括支援センターうぐいす	〒863-0046 天草市亀場町食場854-1	0969-24-4115	0969-24-4116	本渡稜南 新和
	78	天草市	天草北地域包括支援センターきずな	〒863-2201 天草市五和町御領9133	0969-32-2115	0969-32-2199	佐伊津町　旭町 五和町
	79	天草市	天草中央地域包括支援センターなでしこ	〒863-0012 天草市今釜町3412-6	0969-66-9300	0969-66-9301	本渡北(佐伊津・ 旭町を除く) 本渡南 本町
	80	上天草市	上天草市地域包括支援センター	〒861-6192 上天草市松島町合津7915-1	0969-28-3378	0969-56-0747	上天草市全域
	81	苓北町	苓北町地域包括支援センター	〒863-2503 天草郡苓北町志岐660	0969-35-1289	0969-25-3022	苓北町全域

3 アピアランスケアについて

1. 外見に関する支援の必要性

近年様々ながん治療法の進歩によって、生存期間が延長し、入院期間の短縮や外来治療環境が整備されたことで、外見の変化を来すような症状と付き合いながら治療と社会生活を両立する患者さんが増えてきました。

野澤氏らの研究によると、がん患者の80%が治療による外見の変化を懸念している[1)]といわれています。これまでこういった外見に関する症状や変化に対しては、周囲から「命のほうが大事なのだから我慢すればいい」「ウィッグなどで隠せばいい」などと言われることがあり、時として患者さんの悩みや苦悩が軽視されることがありました。また、患者さん側も、外見の変化について周囲に(時には家族にさえも)相談することが出来ないという方もいました。

また、平成30年に国から出された第3期がん対策推進基本計画(図1)では、分野別施策として、がん患者等の就労を含めた社会的な問題に対し、治療に伴う外見変化等の課題に対する対策の必要性が謳われています。さらに、令和4年8月に厚生労働省から「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」が通知され、その中でも「がん治療に伴う外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアピアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を整備」することが明記されました。

医療者として、外見の悩みを抱えながら社会で生活する患者さんに対する支援が求められているといえます。

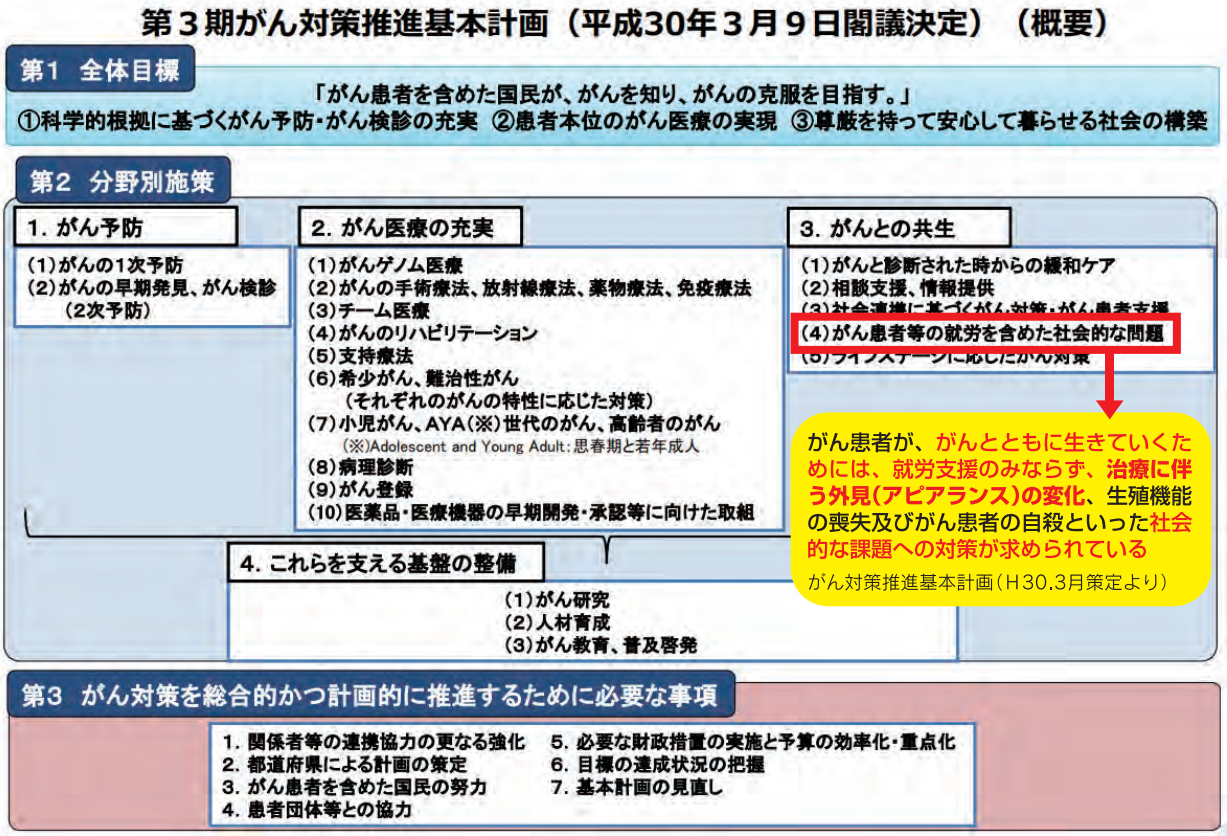


図1：第3期がん対策推進基本計画の概要

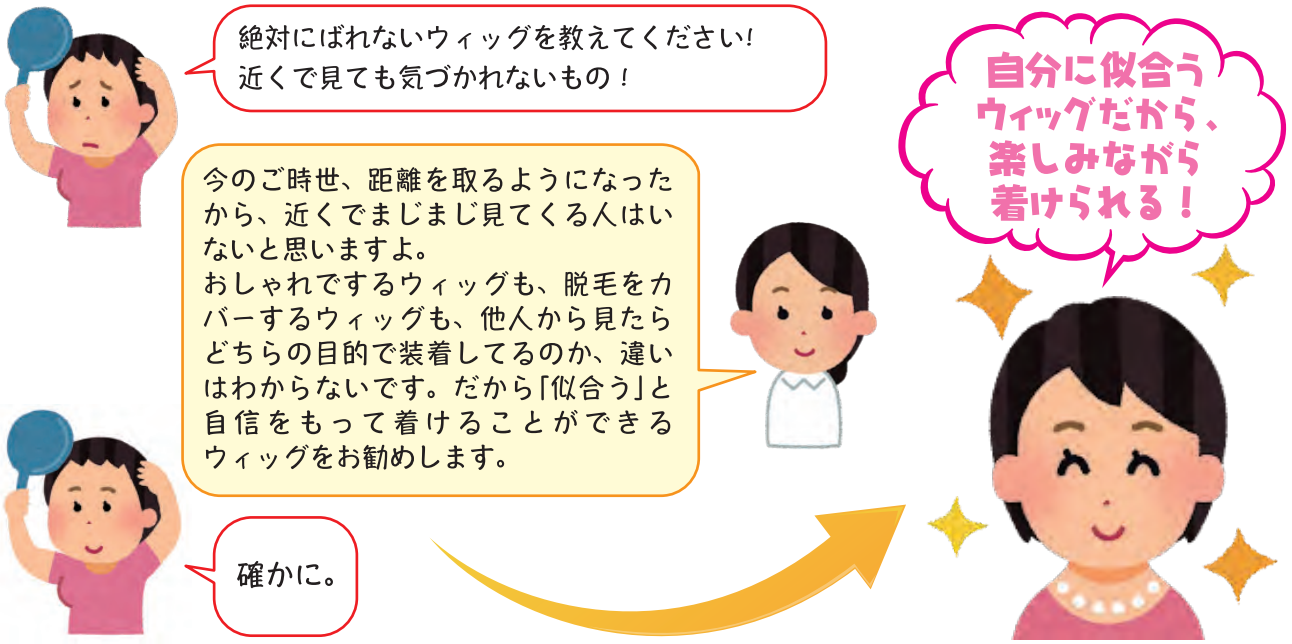
2. アピアランスケアとは

アピアランスケアとは、Appearance(外見)に由来し、国立がんセンター中央病院の外見関連患者支援チームによって作成された造語です。これは、単に外見を整えるためのケアや支援ではなく「医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア」[2]とされています。

外見の変化がもたらす苦痛は、「自分らしさの喪失や社会における関係性の変化への不安」[3]と言われています。痛みなどの身体症状とは異なり、外見による苦痛は社会の存在を前提として初めて成り立つ痛みであることを理解した支援が必要となります。



外見の支援というと、病前の状態と同じになるようにする方法に着目しがちですが、アピアランスケアはその人らしく生活していくことが目的なので、必ずしも外見への審美的介入が必須とはなりません。外見の整容やカモフラージュを行うのみではなく、患者さんが社会の中でのつながりを再構築できるように支援することによって、その苦痛を緩和していく支援です。物事の見方や捉え方を変える、対人行動への助言を通してコミュニケーションの円滑化を図る、ウィッグの利用やメイク等のカバー方法を用いる、といったアプローチでＱＯＬの改善を目指していきます。例えば、おしゃれで使用するウィッグも脱毛をカバーするウィッグも他人が見れば一緒であることを伝えたり、対人関係で外見を不安に感じる場面での対応方法を一緒に考えたりすることで、患者さんの不安が軽減することもあります。



3. アピアランスケアの取り組み

熊本大学病院では、がんセンターのスタッフを中心に、アピアランスケアに関する取り組みを積極的に行っています。ここでは、その取り組みの一部をご紹介したいと思います。

① 患者向けインフォメーションの工夫

医療者は患者が相談する最初の相手であり、そこから得られる情報が最も重要と考えます。例えば、ウィッグメーカー等が出している商用パンフレットを渡すこと一つをとっても、状況を理解してある程度の手段を欲している患者さんには有用なこともありますが、外見変化への不安が強い時には、商用の情報だけを鵜呑みにして高価な商品を購入したり、何をすればよいのか情報の取捨選択が難しいと感じることがあります。また、最初に商品のパンフレットだけ渡すことは、無意識に患者さんに対してそれ以外に方法がないというメッセージを伝えてしまう可能性があります。そのため、最初に患者さんにお渡しする情報は、商用ではなくアピアランスケアの視点でまとめられたリーフレット[4]を活用しています(図2)。



図２：アピアランスケアに関する患者向けリーフレット

また、がん相談支援センターと外来化学療法センターのインフォメーションコーナーでは、商品の提示ではなくあくまで「選択肢の提示」となるように、業者名や値段などは大きく明示しない、業者のパンフレットは、インターネットでのみ対応するものと店舗で対応するものとを分けて置く、アピアランスケアの視点で記載された情報を見えやすいところに掲示するなど、展示方法の工夫を行っています。



爪・まつげ
カバーメイク



男性向けパンフレット



がん相談支援センター アピアランスケアコーナー



外来化学療法センター インフォメーションコーナー

② 患者教室の実施

外見に関連する心配や不安に対して、患者さん向けに「アピアランスケア教室」を開催しています。現在は新型コロナウィルス感染拡大状況をみながら不定期での開催ですが、院内を中心に月に1回程度実施しています。

内容は、「皮膚症状編」と「脱毛編」の2テーマで、単なる外見変化の情報提供や症状部分への対処の指導ではなく

①安心して治療に前向きになれるような内容

②患者の対処行動に強い推奨内容がある場合や、逆に制限を必要とする場合は「がん治療におけるアピアランスケアガイドライン2021年版」に基づいたエビデンスを提示

③患者自身が「これならできる」と感じられる平易かつ金銭的に入手しやすい方法や選択肢の提示

④外見に関する思い込みから解放されるような心理教育を挟む

⑤参加者が楽しめるよう「参加型」で実践を交えたユーモアのある内容

といった内容で構成し実施しています。







写真1：アピアランス教室（皮膚症状編）の様子①

講義のなかでは動画も多用し、パンフレットと併せて理解に繋がりやすくなるよう工夫しています。洗浄剤の泡立てる方法や、実際の洗浄の仕方など、クイズを取り入れながらお伝えしています。爪の変化などは、手作りの模型を使って具体的かつわかりやすい説明を行い、参加者からもわかりやすいと好評です。





写真2：アピアランス教室（皮膚症状編）の様子②

適切な保湿剤の塗り方、クリームの量の目安などを、実際に患者さんにケアを実施して、これまでのケアとの違いを体験して頂いています。参加者の多くの方が、保湿剤の適切な使用量や塗布方法を聞いて、「知らなかった」「勉強になった」と感想を話されていました。







写真3：アピアランスケア教室（脱毛編）開催の様子①

「脱毛編」では、前半にクイズや脱毛の過程、対応方法等について説明を行っています。後半は、様々な脱毛カバーのグッズを実際に手に取ってもらう時間です。ウィッグは安価なものから高価なもの、人毛や人工毛など異なる素材のものなど複数を準備し、見た目だけでその違いが分かるか、クイズをしています。（正解者は少ないです）

ウィッグには多くの選択肢があることをお伝えしており、ウィッグの試着も行っていますが、普段はしないような髪型に挑戦したり、新しい自分を発見する楽しいひとときになっています。




写真4：アピアランスケア教室（脱毛編）開催の様子②

上記写真（左）に写っているボブスタイルのスタッフは、実際にウィッグを装着して教室を運営しています。患者さんは医療者がウィッグを装着しているとは思わず、「誰がウィッグをしているか」とクイズをしても気付く方はほとんどいません。こういったクイズでも、「ウィッグ＝病人のもの」といった思い込みをなくし、ウィッグそのものは自分らしく過ごすための手段の一つであるというメッセージを伝えています。

4. 今後の展望

～患者さんと社会をつなぐためのアピアランスケア～

外見に変化が生じたとしても、その人がそれまでに生活していた社会のなかで、その人らしく過ごせることがアピアランスケアの大事なゴール、目標になると考えます。それはすなわち、患者さんと社会をつなぐということです。治療経過を理解したうえで患者さんの病気や治療に関する悩みに対応し、多職種で支援していくことは、私たち医療者の大事な役割だと思います。

アピアランスケアに関しては、どのタイミングでどのような支援をどのように提供すべきか、様々な研究が行われています。外見の変化が生じた患者さんに対して、よりよい医療が提供できるよう、2021年日本がんサポーティブケア学会から「がん治療におけるアピアランスケアガイドライン2021年版」[5]が刊行されました。少しずつ、エビデンスやケアのノウハウが蓄積されてきています。

正しい情報の提供や、外見変化の捉え方に対するアプローチ、対処方法の工夫を伝えることで、患者さんの外見変化に対する見方が変化し、不安が軽くなったとおっしゃる方も多くいらっしゃいます。患者さんが感じる外見に関する悩みに対して、引き続き多職種でのサポートを行っていきたいと考えています。しかし、アピアランスケアは、患者さんと社会をつなぐための支援の一つです。病院や医療関係者だけで取り組むのではなく、今後は美容関係者、患者会、就労先なども含めた社会全体で患者さんを支えていく礎を作っていければと思います。



■引用・参考文献
1）Nozawa K,Shimizu C,Kakimoto M,Mizota y,Yamamoto S,Takahashi Y,Ito A,Izumi H,Fujiwara Y.（2013）Quantitative assessment of appearance changes and related distress in cancer patients. *Psycho-Oncology*, 22(9):2140-2147
2）野澤桂子：アピアランスケアとは．野澤桂子・藤間勝子編，臨床で活かす がん患者のアピアランスケア，p 7，南山堂，2017.
3）野澤桂子・藤間勝子・清水千佳子・飯野京子，化学療法により乳がん患者が体験する外見の変化とその対処行動の構造，国立病院看護研究学会誌，11(1)p13-20，2015.
4）国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター「患者さま・医療者向け資料　横浜市×アピアランス支援センター　アピアランスケアリーフレット＜https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/appearance/100/index.html＞（最終アクセス：2022年11月24日）
5）日本がんサポーティブケア学会編：がん治療におけるアピアランスケアガイドライン2021年版，金原出版，2021.

4 「私のカルテ」・「私のノート」「私の日記」・「私のメッセージ」

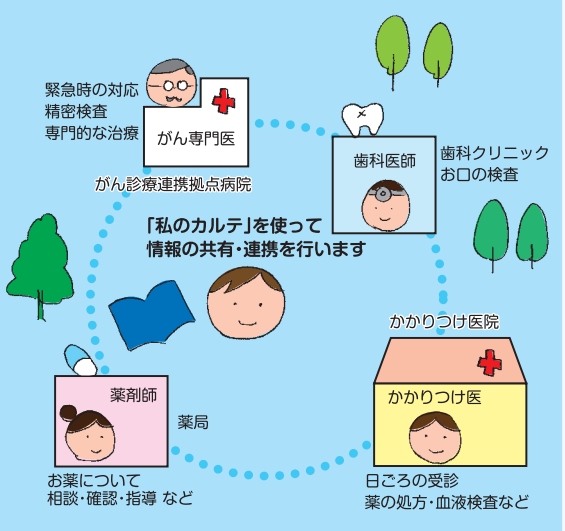
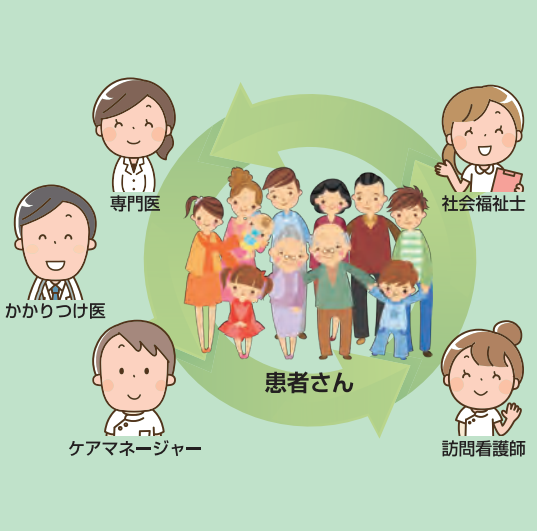
熊本県では、いつでもどこでも質の高いがん治療を安心して受けていただくために、県内共通のがん診療連携パス「私のカルテ」、患者さんやご家族の治療や療養を手助けするための「私のノート」・「私の日記」・「私のメッセージ」を運用しています。



私のカルテ



私のノート

	私のカルテ	私のノート
対象者	がん診療連携拠点病院のがん専門医が必要と判断した特定(胃がん、大腸がん、肺がん、肝臓がん、乳がん、前立腺がん、卵巣がん、子宮頸がん、子宮体がん)のがん患者さん	主治医が必要と判断した重い病気の患者さん
サイズ	持ち運びしやすいA5サイズのファイルノート	在宅やベッドサイドで使用できるA4サイズのファイルノート
内　容	●がん治療の計画表をもとに、がん専門医とかかりつけ医が共同で治療を続けていく ●がんの治療内容や病理、治療経過等を共有する ●診療記録等を自由に記載できる ●検査データやお薬手帳をいれるポケットがある	●体調の日記を付ける ●患者さんと医療者との情報交換を手助けする ●関わるスタッフを書き込み、多職種間の情報交換を手助けする ●お薬の情報をお薬手帳と一緒にまとめる
交付について	熊本県内のがん診療連携拠点病院で十分に説明を受け、同意書にサインが必要です。	熊本県内の医療機関で十分に説明を受け、同意書にサインが必要です。
費　用	保険診療上の自己負担があります。	**無　料**
使　用 イメージ		

【お問い合わせ先】

熊本大学病院内
熊本県がん連携サポートセンター

〒860-8556　熊本市中央区本荘1丁目1-1
TEL：096-373-5764・5763（直通）
FAX：096-373-5768

「私のカルテ」・「私のノート」・「私の日記」・
「私のメッセージ」について
詳しくはホームページでご覧頂けます。

熊本県がん連携サポートセンター
ホームページ

YouTubeチャンネル

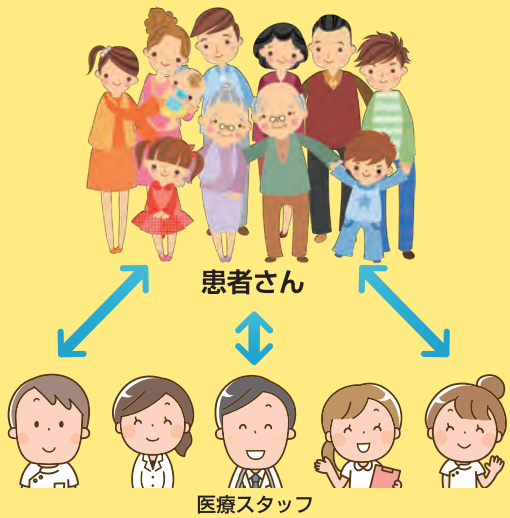
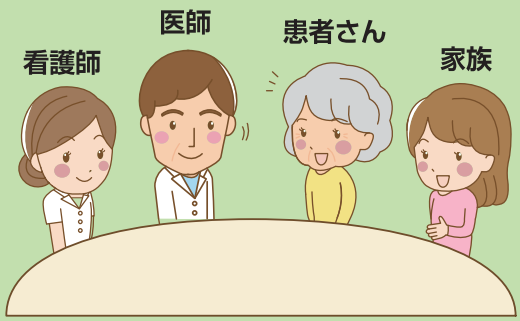


©2010 熊本県くまモン



私の日記

私のメッセージ

	私の日記	私のメッセージ
対象者	病気療養中のどなたでも	どなたでも
サイズ	持ち運びしやすいA5サイズのソフトカバーノート	一枚ずつ取り外しができるA4冊子
内　容	●体調の日記をつける ●患者さんと医療者との情報交換を手助けする ●言えなかった思いを書いてみる ●お薬の情報をお薬手帳と一緒にまとめる	●人生会議（ACPシート） ●患者さんと家族、医療者との情報共有になる ●もしもの時のために備える ●繰り返し話し合う
交付について	熊本県内のがん診療連携拠点病院よりお渡しできます。	熊本県内のがん診療連携拠点病院よりお渡しできます。
費　用	**無　料**	**無　料**
使　用 イメージ		

5 在宅緩和ケアマップ

在宅緩和ケアマップでは、在宅緩和ケアマップでの情報公開にご賛同頂きました病院、薬局、歯科医院の情報を公開しております。

情報公開にご協力・ご助力を賜りました熊本県の各医療機関・各保険薬局・各歯科医院・熊本県医師会・熊本県薬剤師会・熊本県歯科医師会・熊本県健康福祉部の皆様に心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

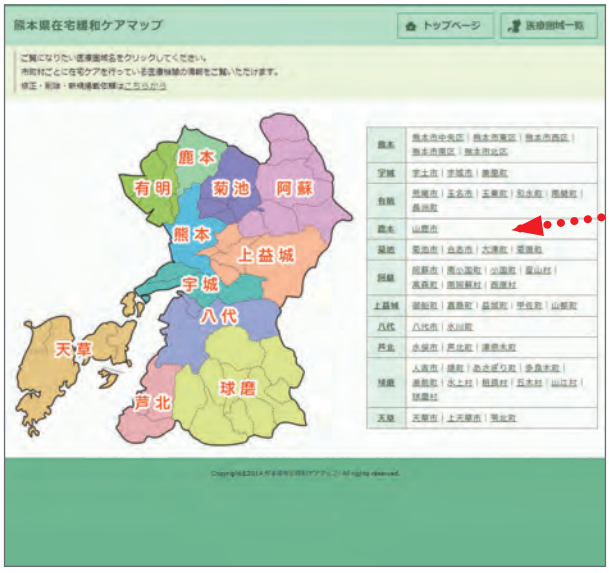
今後も公開する情報の更新を継続していきたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

新規・変更・削除を生じた場合は、申請様式に沿って作成いただき、ご提出いただきますようお願いいたします。

https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/cmc/zkmap/









6 一般市民への普及啓発活動

県民公開講座（市外）

「玉名の緩和ケアの現在・過去・未来
～地域で支える緩和ケア 玉名モデルのご紹介～」

日　　時：令和4年10月30日（日）　10時00分～12時30分
メイン会場：くまもと県北病院　たまきなホール（zoomにて同時配信）

近年の新型コロナウイルス感染症の影響により開催を自粛しておりました県民公開講座ですが、玉名市のくまもと県北病院と共同開催という形式で3年ぶりに開催することができました。当日までに200名近くの応募があり、会場参加・ZOOM配信ともに多くの方にご視聴いただきました。聴講者からも積極的なご質問が行われ、盛況の内に終了いたしました。

今回は熊本日日新聞への折込広告を行いました。
講演会の開催情報は熊本大学病院緩和ケアセンターホームページにて随時更新しております。
参加をご希望の方は、掲載（下記例）された参加申込方法にしたがって申込みをお願いします。









県民公開講座（市内）

テーマ「もしもに備えて みんなで考えてみよう人生会議とは」

～将来に向けて医療とケアの心がまえ～

日　時　令和5年3月12日(日) 13時30分～（入場：12時30分～）

メイン会場　熊本城ホール　シビックホール

配　信　Zoomを用いた配信を行います。
※12時30分より緩和ケアパネル展を開始予定。Zoomでも同時配信を行います。

参加対象者　熊本県民

お申し込み　令和5年2月頃募集開始予定。
熊本大学病院緩和ケアセンターホームページの「お知らせ」に掲載されたチラシのURL、二次元コード および 熊日折込広告 をご覧ください。

厚生労働省は「もしも」に備え、望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合う人生会議を推奨しています。しかし「いつ」「どんなことを」「どうやって」話し合えばいいのかわからないというのが現状です。

今回、熊本県民のみなさんが最期まで自分らしい生活を過ごせるように、人生会議をわかりやすく伝えることを目的とした県民公開講座を開催することとなりました。



人生会議ってなに？

パネル展の開催

緩和ケアセンターでは、より多くの県民の方々に対し、「緩和ケア」についての知識や技術を広げていく取り組みの一環として、県民公開講座と併せて令和2年度からはパネル展を通じた情報発信をしております。パネル展示およびリーフレット配布においては、熊本県、熊本市をはじめとして、熊本県がん診療連携拠点病院、緩和ケア病棟のある病院など多くの施設の方々にご協力頂いております。

引き続き「県民公開講座」と「熊本県緩和ケアパネル展」の両方で「緩和ケア」についての知識や技術を広げていく取り組みを続けて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

新たに緩和ケアセンターホームページで各施設のパネル内容を常時閲覧できるようにいたしました。

第６回 熊本県立図書館展

2022年10月15日(土)～26日(水)
9:30～17:15




第７回 くまもと県北病院展

2022年10月30日(日)
来場者数:80名(Zoom参加:約150名)
9:00～10:00(会場とZoom配信)




第８回 パレアロビー展

2022年12月6日(火)～20日(火)
9:00～21:00(最終日:17:00)






第９回 熊本城ホール展(シビックホール)

2023年3月12日(日)
12:30～13:30
(会場・Zoom配信)



熊本大学病院 緩和ケアセンター HP展

2022年10月20日(木)～

常時掲載中



リレー・フォー・ライフくまもとへの参加

「がんセンター」として「リレー・フォー・ライフジャパンくまもと」に参加しております。

今年度は、コロナ禍における新たな取り組みとしてYouTubeを用いた動画配信が行われました。

当院がんセンターもチーム紹介動画として例年のイベントの様子をまとめた動画を提供し、配信していただきました。

（動画は右記のリンクからご視聴いただけます） **https://youtu.be/KDAOXWpoPrg?t=510**





Twitterを用いた広報の開始

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、新たな試みとして令和3年度より熊本大学病院緩和ケアセンターのTwitterアカウントを開設いたしました。

講演会やパネル展示等の各種イベントのお知らせを随時行っておりますので、ぜひフォローお願いいたします。





緩和ケアセンターホームページ

緩和ケアセンターでは、より多くの県民の方々に対し、「緩和ケア」についての知識や技術を広げていく取り組みの一環としてホームページにて情報提供を行っております。



こちらのリンクに緩和ケア広報誌のバックナンバーを掲載しております

緩和ケアに関するイベントのお知らせを行います。
こちらに掲載されている案内からセミナーや研修会へお申し込みいただけます。

当院では緩和医療を目的とした医員を受け入れております。
緩和ケアにご興味のある方はぜひ当院までお問い合わせ下さい。

他院受診中の患者様でも緩和ケア担当医師の診察をご希望の方に関しては、外来診療を行っております。

がん関連分野の専門性の高い看護師が、地域の訪問看護師の方と連携し、同行訪問を行っています。

緩和ケアパネル展の内容はコチラから閲覧できます

在宅緩和ケアマップはコチラに掲載されています

緩和ケア関連のイベントを月ごとにご確認いただけます。
熊大病院以外のイベントも掲載されておりますので、ぜひお申し込みください。

令和3年度よりTwitterアカウントを開設いたしました。
講演会やパネル展示等の各種イベントのお知らせを随時行っておりますので、ぜひフォローお願いいたします。

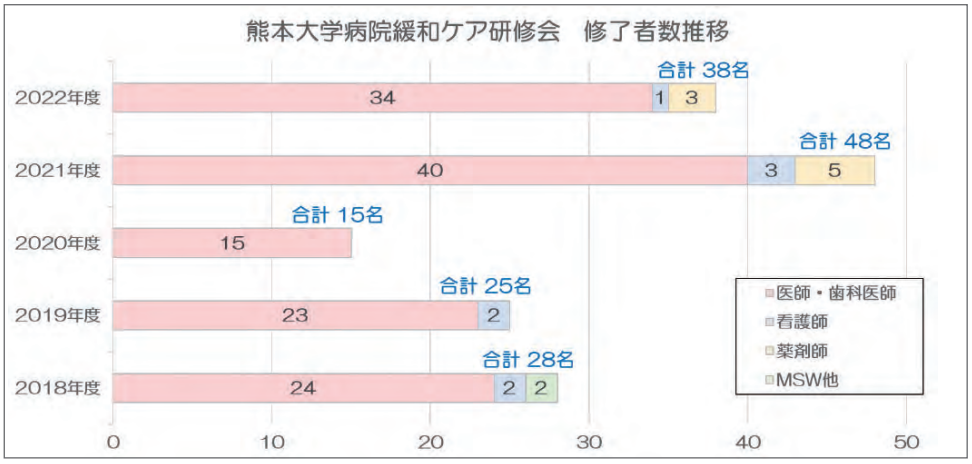
Twitter
アカウントの
フォローは
こちらから

7 医療従事者への活動

緩和ケア研修会の開催

がん診療に携わる医師等が、緩和ケアについての基本的な知識を習得し、がんの治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目的として「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に沿って開催しています。

令和4年度、熊本大学病院では9月10日(日)に終日行われ、医師34名、薬剤師3名、看護師1名が緩和ケア研修会を修了いたしました。熊本大学病院主催回に参加ご希望の方は随時、緩和ケアセンターホームページ「お知らせ」に掲載されますご案内の参加申込方法にしたがってお申し込み下さい。







熊本県緩和ケアチーム研修会の開催

がん対策基本法およびがん対策推進基本計画の理念に基づき、がん患者に対して適切な緩和ケアが提供できる体制を整備するため、県内のがん診療連携拠点病院の緩和ケアチームの問題点を共有し、質の向上と機能強化を目的として、令和元年より熊本県緩和ケアチーム研修会を開催しております。令和4年度は、11月5日(土)午後に「各施設・地域の課題を明らかにし、解決方法を探る」ことを目標として集合形式で開催いたしました。

13施設39名(医師13名、看護師14名、薬剤師5名、MSW3名、PT2名、栄養士2名)の参加があり、緩和ケアチーム研修会を修了いたしました。



当日のGWの様子

当日のプログラム

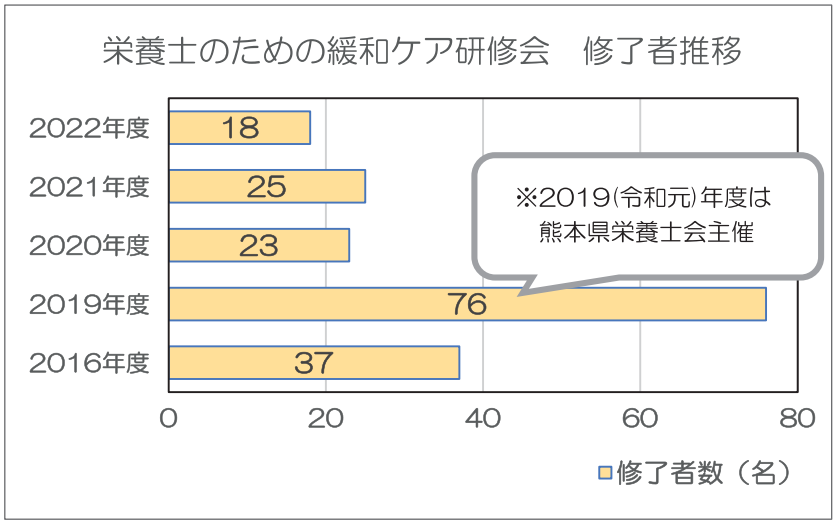
開始時間	終了時間	内容
12：00	12：45	研修受付・参加確認
12：45	12：55	開会・研修説明
12：55	13：40	職種毎でディスカッション （アイスブレイク含）
13：40	13：50	移動・休憩
13：50	14：30	他施設とディスカッション
14：30	14：40	移動・休憩
14：40	15：20	自施設でディスカッション、発表準備
15：20	16：20	全体共有（各 4 分発表）
16：20	16：30	閉会

栄養士のための緩和ケア研修会

平成28年度より、緩和ケア関係の栄養・食事における諸問題について学ぶ研修会を開催しております。

今年度は7月18日(祝)に「動機づけ面接をやってみよう」というテーマで「栄養士が病棟で出会う精神症状～臨床場面集を交えて～」、「栄養士に必要なコミュニケーションスキル」の講演の後、ロールプレイによる面接実践を、Zoomによるオンライン形式で実施し、18名の栄養士の方にご参加頂きました。

参加申込は、緩和ケアセンターホームページの「お知らせ」に随時掲載される参加申込方法にしたがって申込みをお願いします。





リモート開催の様子



開催年度	開催回	テーマ
2016年度	第１回	「栄養士にしかできない緩和ケアがあります！」
2019年度	第２回	食べる楽しみと緩和ケア （熊本県栄養士会主催）
2020年度	第３回	皆さんは仕事場でのコミュニケーションって、 得意ですか？それとも苦手ですか
2021年度	第４回	アドバンス・ケア・プランニング ～やってみよう、自分自身のＡＣＰ～
2022年度	第５回	栄養士が病棟で出会う精神症状と 必要なコミュニケーションスキル ～動機づけ面接をやってみよう～



第5回ポスター

熊本緩和ケアカンファレンスの開催

熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会との共催により、熊本地域の病院や緩和ケア病棟、在宅支援診療所等の緩和ケアに関わる医療、介護、福祉、行政その他が協働して、緩和ケアに関する事案・課題・連携協力に関することを全人的に協議・研究し、熊本の緩和ケアの質を向上することを目的として、熊本における緩和ケアの関係者を対象とした「熊本緩和ケアカンファレンス」を毎月1回程度開催しています。

開催情報は熊本大学病院緩和ケアセンターホームページにて随時更新しております。参加申込は、緩和ケアセンターホームページの「お知らせ」に掲載された参加申込方法にしたがって申込みをお願いします。
参加は無料となっていますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

また、下記予定一覧で「動画/資料」が「○」の開催回については、緩和ケアセンターホームページの会員登録をしていただくと閲覧することができます。

令和4年度　熊本緩和ケアカンファレンス開催予定一覧

回	開催月	主催病院	タイトル・（備考）	動画/資料
第108回	6月17日(金)	済生会熊本病院	がんと診断された時からの緩和ケア	○
第109回	7月28日	熊本市民病院	チームで支える意思決定支援 ～終末期乳がん患者の支援を通して～	○
第110回	8月26日	熊本大学病院	「アドバンス・ケア・プランニング導入に向けた 婦人科・乳腺病棟での取り組み」	○
第111回	9月16日(金)	大腸肛門病センター高野病院	「消化器の症状・疾患・難病に対する 緩和ケアの最新知見」	○
第112回	10月13日(木)	熊本赤十字病院	『その痛み、オピオイドのせい？』 「その症状、オピオイド減量してよかったね」 「そのオピオイド、減らしてみませんか？」 ～緩和ケア回診の取り組み～	○
第113回	10月20日(木)	熊本労災病院	「AYA世代（高校3年生）の胃がん患者への 就労・両立支援の取組事例」	○
第114回	11月11日(金)	熊本中央病院	緩和ケアチームに在宅医が参加すること ～事例を通して考える～	○
第115回	11月19日(土)	国立病院機構　熊本南病院	「2022がんフォーラムinうき」 もしも私が、私の大切な人が「がん」になったら・・・	○
第116回	12月22日(木)	くまもと森都総合病院	医療者が対応に苦慮した末期がんの2症例 ～私たちはどう対処すればよかったのか～	○
第117回	1月26日(木)	熊本地域医療センター	「緩和ケアに関する研修会」 全人的苦痛がある中で患者の希望を 実現できた事例 ～AYA世代の患者との関りで感じた ジレンマを通して学んだ事～	○
第118回	2月16日(木)	国立病院機構熊本医療センター	減らせる薬はないですか？ ～これまで内服している薬の やめどきについて考える～	

くまもと緩和ケアWebラウンジ

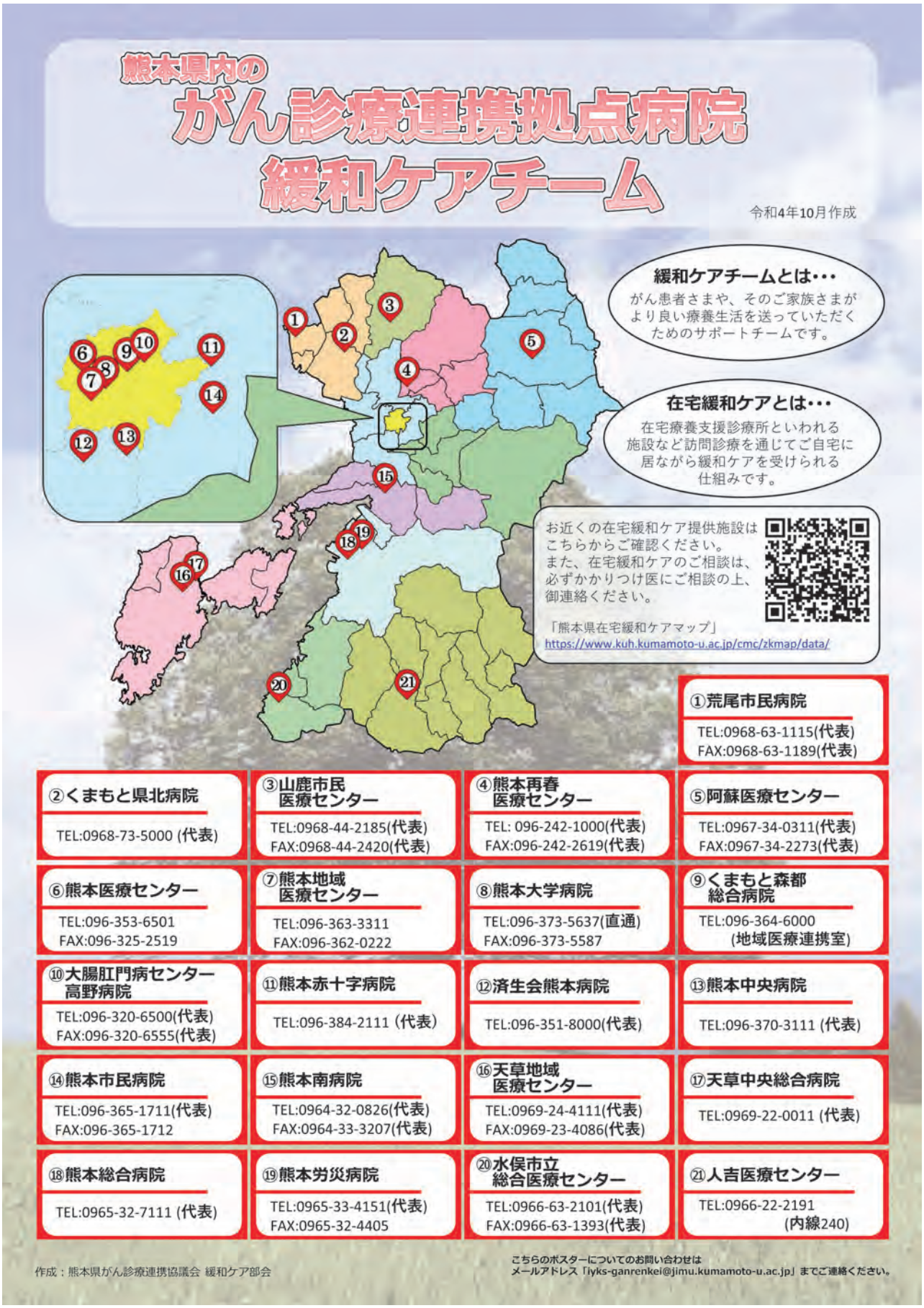
令和4年度から県内各地域や医療機関で緩和ケアに従事する医療者が抱える悩ましい症例について、気軽に相談・情報共有することを目的として、2ヵ月に1回、平日の時間外に「申込不要、無料」でオンライン開催しています。

ご参加される場合は、緩和ケアセンターホームページの「お知らせ」に掲載開催されたチラシのURL、又は二次元コードからご参加下さい。

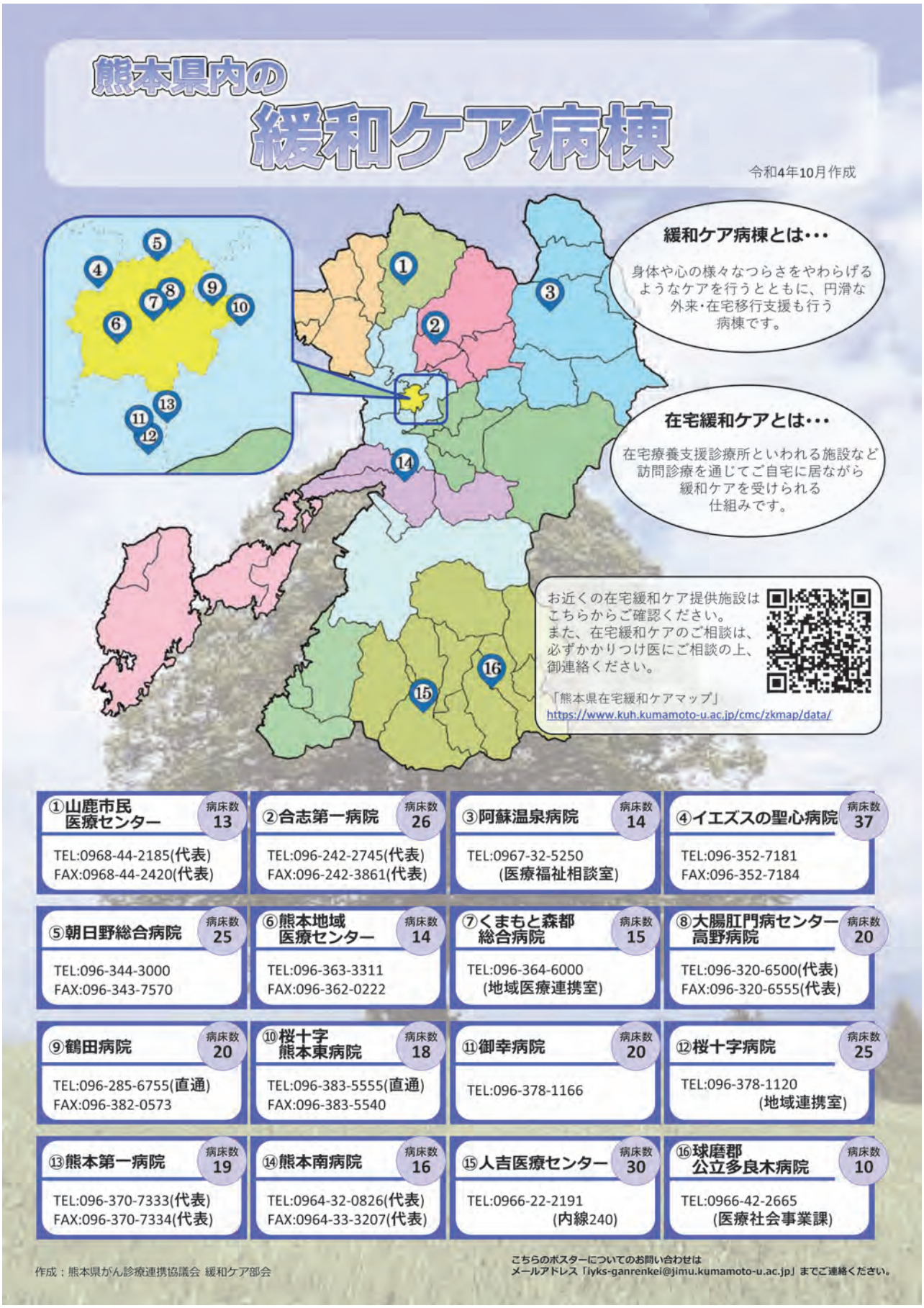
開催回	ミニ症例検討内容
第１回	『どうする？難治性のがんの痛み』
第２回	『家族ケア、どうしたらいいの？』
第３回	『補完代替医療を希望する患者（家族）とどう向き合うか』
第４回	『身寄りのない患者への社会的支援』
第５回	『DNAR 患者の不搬送について』



8 熊本県がん診療連携拠点病院



9 緩和ケア病棟のある病院



10 緩和ケアセンターのご案内

みなさんと
話し合いながら
ご希望に添った支援を
行っていきます。

いつでもお気軽に
ご連絡下さい。



- 症状に関する相談
- 患者さんとご家族に関する相談
- 訪問看護師さんとの同行訪問
  （専門・認定看護師が同行）
- 勉強会の開催、講師派遣、など

◆TEL	096-373-5637 080-5790-2220	【月～金】8:30 ～ 17:15（祝日および休診日を除く） ※緊急用
◆FAX	096-373-5587	
◆Mail	kanwa@jimu.kumamoto-u.ac.jp	
◆WEB	WEBカンファレンスが可能です。 まずはメールでご相談ください。	

緩和ケアセンターホームページでは、各種イベント情報や各施設の紹介も掲載するだけでなく、「緩和ケアセンターの紹介」や「患者さん・ご家族の方へ」「医療関係者の方へ」など、対象別にいろんな情報を掲載しています。また、医療関係者の方を対象とした会員専用ページを用意し、熊本緩和ケアカンファレンスやセミナーの動画データ等も閲覧可能となっております。ぜひ会員登録をしてご覧下さい。

熊大病院　緩和ケアセンター

で検索して下さい。

緩和ケアに関するイベントのお知らせ

緩和ケアパネル展示内容

緩和ケア関連のイベント
情報スケジュール



＊詳細内容は、23ページの緩和ケアセンターホームページをご覧ください。

謝　辞

今年も皆様に緩和ケアセンター広報誌をお届けできることを、心からうれしく思います。今まで本広報誌の紙面に貴重な情報をご提供いただいた多くの方々に、重ねて感謝申し上げます。2020年に始まったコロナ感染拡大による全世界への影響のみならず、ロシアによるウクライナ侵攻が続いています。改めて平和の尊さを噛みしめると同時に、それが決して確約されたものではないことを感じています。

今回の広報誌では、「地域包括支援センター」と「アピアランスケア」をテーマにさせて頂きました。多大なるご支援を賜りました熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会・会長の鴻江圭子先生、快く原稿執筆にご協力いただいた熊本大学病院緩和ケアセンター師長の安達美樹氏・副師長の坂口まみ氏に心から感謝申し上げます。がんを患う方々は高齢者の方が多く、生活習慣病や整形外科的な基礎疾患を合併していることも珍しくありません。高齢者等の保健医療の向上や福祉の増進とともに介護を担う地域包括支援センターと、重篤な疾患に伴う様々な苦痛軽減をめざす緩和ケアセンターの業務は、切っても切れない関係にあると考えています。また、がん治療の進歩に伴い、外見（アピアランス）に関する支援の必要性が大きくなってきています。もっと詳しく知りたい方は熊本大学病院緩和ケアセンター（096－373－5637）や、がん相談支援センター（096－373－5676）にお尋ねください。

本誌の目的は、熊本県内の医療関係の皆様に緩和ケアに関する最新の情報をお届けすることです。本誌後半には「在宅緩和ケアマップ」や「一般市民への広報活動」、および「医療従事者への活動」など、様々な情報を掲載していますので、是非ご一読ください。また、もっとこんな情報がほしいというご希望がございましたら、遠慮なく当緩和ケアセンターまでご一報ください。皆様のお力添えを得て、熊本県民が心身共に安心して暮らしていける社会の充実に熊本大学病院緩和ケアセンターが貢献できるよう、今後ともご支援・ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

令和5年2月



熊本大学病院緩和ケアセンター長

吉武　淳

令和４年度 熊本大学公開講座(オンライン)

受講生募集

知っておいて損はない

古くて新しい緩和ケア

～医学生にはこんなこと教えています～

日本は「超高齢化社会」の真っただ中にあり社会構造が大きな分岐点を迎え、雇用・医療・福祉など、さまざまな分野に影響を与えています。その中でも、医療のあり方に関係がないという方はいないと言っても過言ではなく、2006年（平成18年）に成立した「がん対策基本法」では「緩和ケア」も重要な課題として挙げられています。この公開講座は、熊本大学の医学生に行っている「緩和ケア」に関する講義をかみ砕いて分かり易くしたものです。是非、本物の「緩和ケア」にふれてみて下さい。



講　師	吉武　淳　医師・教授　熊本大学病院緩和ケアセンター
日　程	令和5年 1月5日・12日・19日・26日全て木曜日　全4回
時　間	18:30-19:30
受講料	5,200円（税込み）
定　員	100名　対　象　一般・高校生・大学生・医療介護関係者等
場　所	オンライン開催（Zoom会議システム利用）

実施日	講 義 内 容
1/5	緩和ケアって、何？
1/12	全人的苦痛って、何？
1/19	スピリチュアルペインって、何？
1/26	アドバンス・ケア・プランニングって、何？

12/15(木)
申込締切

お申し込み先：
熊本大学病院 緩和ケアセンター事務
E-Mail: kanwa@jimu.kumamoto-u.ac.jp
※氏名・年齢・職業（事業所名、学校名等）・住所・電話番号を明記の上、メールにてお申し込みください。

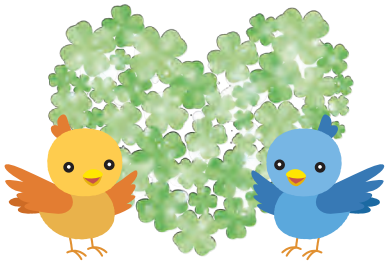
講座内容についてお問い合わせ先：
熊本大学病院 緩和ケアセンター　吉武　淳
E-Mail: atsuyoshi@kuh.kumamoto-u.ac.jp

その他お問い合わせ先：
熊本大学 研究・社会連携部 社会共創推進課 公開講座担当
TEL: 096-342-3144(平日9:00-16:00)
E-Mail: manabou@jimu.kumamoto-u.ac.jp

令和4年度　熊本大学公開講座

緩和ケアセンター HPは
こちらから

Twitterアカウントの
フォローはこちらから



緩和ケアセンター

TEL 096-373-5637
FAX 096-373-5587
Mail kanwa@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ホットライン 080-5790-2220